

【普及マニュアル】

特 用 林 産

サカキ

萌芽更新を利用したサカキの省力化栽培技術

令和 7 年 2 月

鹿児島県森林技術総合センター

萌芽更新を利用したサカキの省力化栽培技術

現在放置または手入れ不足により 2 m 以上の高木となったサカキ林においては、生産性を高めるために次のような管理を行うことで、更新作業の省力化が図られる。

- (1) 新葉の展開前の春先に高さ 60 cm 程度で台伐りを行う。その際に腐朽防止のために少し傾斜を付けて切断し、木口面には殺菌剤（トップジンMペースト）を薄く塗布しておく。
- (2) 1 年目に成長の比較的良好な萌芽枝を 5 本程度残して剪定する。通常サカキを植栽した場合は収穫できるまでに 6 ～ 7 年かかるが、台伐り後 4 年目以降に収穫できるようになる。
- (3) 継続して収穫するためには、一度に全部台切りせず、一部ずつ計画的に更新をしていく方法もある。



写真1 台伐り後のサカキ

高さ
60
cm



写真2 台伐り後の萌芽状況(2ヶ月経過)

萌芽
枝



写真3 3年後の状況